

ステークホルダーダイアログ

- 事業活動との結び付けが弱かったマテリアリティ（重要課題）について、経営層と、外部有識者や第一線で活躍する社員等によるステークホルダーダイアログを通じて、組織が行うべきアクションの特定を企図

CSV推進



長期ビジョンではグローバルビジネス強化を掲げた。具体的な事業活動を検討する出発点として、サステナビリティへの理解醸成が必要。役員がステークホルダーの目線での課題認識を出来る機会をつくりたい。

参加者



役員3名＋事業部が推薦する中堅社員10名*
日本総研からは論点提起を行う有識者およびファシリテーターが参加

* 人事施策で社外コンソーシアム活動に従事した社員ほか、フロントで活躍する社外ステークホルダーとの接点が多い社員

プロジェクト概要



- ① 日本総研より、マテリアリティに係る概論・論点を提示する
- ② 特に既存事業との結び付けが弱いマテリアリティをテーマに、第一線で活躍する社員の問題意識を題材にダイアログを実施する
- ③ 得られた示唆を後日経営会議のアジェンダに反映する

本事例のポイント



- 中核部署でも日々の業務においてまだ実感のない社員と、先進企業や競合等の動きを認識し焦りを感じている社員等のリアルな声を役員が直接聞くことにより、経営会議でのアジェンダの一助とする

出所：日本総研作成